

社会科プリントその③

○ 金沢に昔から受けつがれてきたものについて答えましょう。

(1) 加賀とびはしご登りについて答えましょう。

1. 江戸時代に始まり、何年間の歴史がありますか。

(300 年間)

2. 加賀とびはしご登りが高いはしごの上で演技するのはもともと加賀とびがはしごの上でどのようなことをしていたからですか。

火事のじょうきょうや風向き、建物のじょうきょうをたしかめていたから。

3. 竹で作られたはしごの長さはどれだけですか。

(6 m)

4. はしごの上に登り連続で何しゅるいの技を行いますか。

(27)

5. はしごがたおれない様にささえるために使っている道具の名前は何ですか。

(とび口)

6. 技が決まるたびにふり上げる美しい道具の名前は何ですか。

(まとい)

7. 技を行っているあいだに歌われている歌の名前は何という歌ですか。

(木やり歌)

8. はしご登りをしている人たちは何という団体の人たちですか。

(消防団 または消防分団)

(2) 地いきの祭りや行事がずっと続けられているのはどうしてだと思いますか。

人々の思いやねがいを考えて書きましょう。

- ・ 加賀とびはしご登りが受けつがれなくなると金沢市の人々がかなしい気持ちになるから。
- ・ 火事から金沢の町を守る気持ちを忘れないようにするため。
- ・ これまでの伝とうをなくしてしまうのは先ばいたちに失礼だから。

どれか一つ書けていればOK

(3) 金沢に受けつがれる宝について答えましょう。

・ (金沢城) は江戸時代の火事でほとんど焼けてなくなりましたが、^{ひしやぐら}菱櫓・五十間長屋・石川門などが昔の工事のやり方で元通りのようにつくられた。

・ 地域の祭りでは(ししまい)が行われ、子どもたちが^{ぼう}棒ふりをしたり、お盆には盆おどりが行われる。

・ (氷室開き) は江戸時代に冬にふった雪をにためておき、夏にその雪を^{とのきま}殿様に贈ったことが由来となっており、現在ではまんじゅうを食べている。

・ 能は室町時代から受け継がれてきた(伝統芸能)の一つであり、金沢では(加賀宝生)が今でも大切に受け継がれている。